

国語

中学1年

本書の構成と特色

■ 全体の構成

本書は、文章のジャンルの違いによって各単元に分けてあります。論説文は、入試の出題率も高く、また、国語の論理的な理解に役立つという理由から、特に重要な分野と考え、単元数を多くとってあります。

■ 単元の構成

一つの単元は、**学習の要点**⇒**確認問題**⇒**練成問題**の順に構成してあります。なお、学習の要点は、韻文・古典・客観事項の単元に配してあります。

◆ **学習の要点**…問題を解く際、重要と考えられる実用的な知識を確認できるようにしてあります。

◆ **確認問題・練成問題**…基本的な問題の量、素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。練成問題は、入試に対応できる難易度を持たせてあります。

■ Check & Try

巻頭の「**事前に Check!**」は、基本事項を簡単におさらいできる問題で構成してあります。定着の度合いを確認することができます。

巻末の「**最後に Try!**」では、基本問題を中心にしながら、やや応用的な問題もふくめて構成してあります。本書で学習した成果を確認することができます。定期テストの準備に最適です。

CONTENTS

	学習日		学習日
事前に Check!	2	6 詩	26
1 漢字・語句	6	7 随筆	30
2 小説(1)	10	8 古典・短歌・俳句	34
3 小説(2)	14	9 文法	38
4 論説文(1)	18	10 総合問題	41
5 論説文(2)	22	最後に Try!	45

□(3) 次の故事成語の意味として最も適切なものを、それぞれのあとから選び、記号で答えなさい。

□① 杞憂きゆう

- ア いつまでもくよくよすること。
- イ 取り越し苦労をすること。
- ウ とても用心深いこと。
- エ 悲しくて落ちこむこと。

□② 牛耳うしみみを執とる

- ア 仲間の頭かみになること。
- イ 損な役回りになること。
- ウ 厳しつぱつしく処罰しよばつすること。
- エ すかさず行動すること。

□③ 蛇足だそく

- ア 本物そっくりのにせ物。
- イ めずらしくて貴重な物。
- ウ むだな行いや、よけいな物。
- エ 大がかりなしかげや、立派な物。

□④ 背水の陣せいすいのじん

- ア 準備万端ばんたんで本番に臨のぞむこと。
- イ 決死かくじの覚悟かくごで物事にあたること。
- ウ 用心を重ねて慎重しんちょうに進めること。
- エ 用意が不十分なまま取り組むこと。

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

□⑤ 登竜門とうりゅうもん

- ア とても苦手とすることがら。
- イ 物事の、大切な最後の仕上げ。
- ウ 引け目を感じることがあり、訪問しにくい家。
- エ 出世や成功を収めるための難しい関門。

□⑥ 螢雪けいせつの功

- ア 思いがけない幸運にめぐりあうこと。
- イ わずかなことでも、重なり集まると大きなものになること。
- ウ 他人の取るに足らない言動でも自分の役に立つこと。
- エ 苦労しながら学問にはげみ成功すること。

□(4) 次のそれぞれの語句の□に、漢数字を一字入れ、下の意味を持つことわざ・慣用句・故事成語を完成させなさい。

□① 悪事□里を走る↓悪い行いや評判はすぐに知れわたること。

□② 五十歩□歩↓似たり寄ったりということ。

□③ □方ふさがり↓すべてが具合悪くなってしまうこと。

□④ □の句がつけない↓驚おどろいたりあきれたりして次の言葉が出ない。

□⑤ □人寄れば文殊もんじゆの知恵ちえ↓話し合えば良い考えがうかぶこと。

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

〔 〕

5 (漢字総合)

□(1) 次のそれぞれの漢字の部首名を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□1	登	〔	□2	点	〔
□3	運	〔	□4	慣	〔
□5	教	〔	□6	国	〔
□7	建	〔	□8	社	〔
□9	歌	〔	□10	度	〔

ア	くるま	イ	しんによ(しんにゆう)
ウ	あくび	エ	れんが(れつか)
オ	のぶん	カ	りっしんべん
キ	くがまえ	ク	えんによう
ケ	まめ	コ	はつがしら
サ	しめすへん	シ	うかんむり
ス	まだれ	セ	がんだれ

□(2) 「間」という漢字と部首が異なるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア	関	イ	聞
ウ	閣	エ	開

□(3) 次のそれぞれの漢字の総画数を、漢数字で答えなさい。

□1	印	〔	□2	危	〔
□3	近	〔	□4	収	〔
□5	医	〔	□6	存	〔

□7	部	〔	□8	庭	〔
□9	世	〔	□10	書	〔

□(4) 次のそれぞれの漢字と総画数が同じものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□1	出	〔
□2	考	〔
□3	臣	〔

ア	承	イ	号
ウ	吸	エ	系
オ	片	カ	姿

□(5) 次のそれぞれの線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

□1	高いビルをケンセツする。	〔
□2	心身のケンコウを保つ。	〔
□3	授業の内容をフクシユウする。	〔
□4	フクザツな問題を解く。	〔

□(6) 次のそれぞれの線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

□1	花見の時期にはまだハヤい。	〔
□2	私の兄は走るのがハヤい。	〔
□3	朝の七時に目がサめる。	〔
□4	スープがすっかりサめる。	〔

2

小説 (1)

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

CAMP

●
練成問題

- ① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〔南木佳士「ダイヤモンドダスト」より〕

(注) 租界は中国にあった、行政権が外国にあった外国人の居留地。

□(1) — 線①「そんな静かな家の床下にとつともなく深いあながひそんでいたこと」という表現は、どういうことをたとえていますか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 一見平和そうに見える日常生活の裏側には、いやなことがたくさんあるということ。

イ 日常生活のおだやかさは、思いがけない出来事によって、あつげなく破られるということ。

ウ 単調な日常生活は、人の気分を落ちこませ、家庭内のふん囲気を暗くするということ。

エ 活気がない日常生活には、悲しいことやつらいことがいっぱいにつまんでいるということ。

□(2) — 線②「職も失った松吉」とありますが、松吉が失った職とは、具体的に、どんな仕事だったと考えられますか。「仕事」という形で、書いて答えなさい。

仕事。

□(3) — 線③「地に手足をつけた生活を放棄していった」とありますが、それまでの町の人々の「地に手足をつけた」暮らしぶりが書かれている部分を、本文中から二十二文字で探し、その最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

□(4) — 線④「学校の行き帰りにそんな男たちを見ていた和夫」とありますが、「そんな男たち」に対する和夫の気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 軽べつ。 イ 同情。
ウ うらやみ。 エ にくしみ。

□(5) — 線⑤「和夫の夢」の具体的な内容を書いて答えなさい。

□(6) — 線⑥「和夫のおだやかすぎる選択をなじる者」とありますが、その者は、どういう考え方から、和夫をなじるのですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 危険な事はさけるべきだ、という考え方。
イ あまい見こみは捨てるべきだ、という考え方。
ウ 夢を追いかけて生きるべきだ、という考え方。
エ ぜいたくはつつしむべきだ、という考え方。

□(7) 本文中からは、和夫がどのような人物であることがわかりますか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 大きな望みを心の内にかくし持っている、野心に満ちた人物。
イ 自分を取り巻く現実をしっかりと見すえている、実直な人物。
ウ 何事にもねばり強く一生けんめいに取り組む、努力家の人物。
エ 周囲の人々にとけこむことができない、負けん気の強い人物。